

あれから5年……………

「真の復興は、人々の心の結びつき」

山鼻町内会連合会会長 阿部 貞夫



昨年の今ごろ、2015・3・11、本だよりに掲載すべく拙稿を書いていた。題して「あれから4年……」でした。

無論、「あれから」とは東日本大震災です。

そして今また、本年度の拙い原稿を書いています。2016・3・11、本日です。そして表題は自分の意とは関係ないかのごとく勝手に手が動き、「あれから5年……」と打ち出していました。

我ながら能のないこととは思いつつも、変える気はありませんでした。この4年から5年、何が変わったのでしょうか。確かに復興は遅々としながらも進められているようですが、それはインフラ等を中心としたものであり、いわば「復旧」の一部だといわれています。まちを失い、家族を亡くし、住む家もなく、未だ仮設住宅暮らしを余儀なくされている方も多くいます。被災者に賃貸する災害公営住宅の完成率は約6割だそうです。

災害の復興といえば、どうしてもインフラ整備が先行されがちです。それも当然必要なことですが、一瞬にして日常を失った人々の真の復興とは何かが、今問われています。「あれから4年……」も「あれから5年……」も何も変わらなければ、被災地の人々の思いはどうなるのであろうか、と考えさせられる1年でした。

今もなお、行方不明者 2,561 名、さらに多くの人々が福島に帰れない状態が続いています。しかも、大震災被災地の集中復興期間が、この3月で終わるということが報じられていますが、被災者の心情を思うとき、この先も被災者の心の琴線に触れる対策を願わざるを得ません。

「真の復興」は「心の復興」です。この5年間での震災関連死者数は 3,410 名だそうです。

復興といえば、インフラ整備に目が行きがちですが、それは単なる「復旧」に過ぎないとは前述したとおりです。そこに暮らす人々のつながりや結びつきが失われていては、「真の復興」とはいえないのです。災害は忘れないうちにやって来る、といわれる昨今、今の、「災害後」は次の「災害前」だといえます。

この「災間」の期間中にこそ、人々の心のつながりを大事にし、常に絆を深めるように心掛けることが必要です。そこに町内会の存在意味があると思います。

真の復興、心の復興には普段からの「絆」が大切です。

安心して暮らせるわがまち山鼻、そのためにも、普段からの安全確保が必要ですが、その一つの要素は町内会の人々の「心の絆」です。

社会福祉部

日ごろの福祉活動のために学びました ～福まち町内会役員研修会～

少子高齢化が進む中、安全・安心なまちづくりを目指し、山鼻地区福祉のまち推進センターの事業に協力し、福祉全般の向上に努めました。12月10日に行われた「福まち町内会役員研修会」では、区役所職員を講師に招き、生活保護制度について学びました。



総務部

今年もよい一年になりますように！ ～山鼻地区新年交礼会～

1月7日、札幌東急 REI ホテルにおいて、平成28年の山鼻地区新年交礼会を、各町内会、地区内関係諸団体、札幌市、陸上自衛隊札幌駐屯地、道・市議会議員、学校関係者等の方々にご出席をいただき開催しました。



阿部町連会長の年頭あいさつに続き、陸上自衛隊の飯盛札幌駐屯地司令さん、高松中央区長さんから祝辞を頂戴し、中央区社会福祉協議会の高橋事務局長さんによる祝杯をいただきました。新田昌弘さんの津軽三味線の演奏や、参加者全員によるジャンケン大会、有志によるカラオケの余興で盛り上がり、山鼻地区民生委員児童委員協議会の浅井会長さんの乾杯で散会となりました。

ご参加をいただきました皆様、準備に当たった第3ブロック各町内会の皆さんに、あらためてお礼申し上げます。

防火部／防犯部

声を掛け合い、安心・安全なまちづくりを ～防火・防犯部等合同研修会～

12月3日、各町内会防火部、防犯部及び地域安全関係者38人が参集し、合同研修会が開催されました。中央消防署山鼻出張所の柴田消防司令さんからは最近の火災発生の動向について、札幌方面南警察署の成田生活安全係長さんからは振り込め詐欺の事例解説がそれぞれありました。

参加者には地域パトロールなどに利用できるよう、啓発品としてネックライトが配られました。

これからも住民同士が声を掛け合い、地域全体で安心・安全なまちづくりを行っていきましょう。



交通部

歩行中や自転車の事故に気をつけましょう

◆交通死亡事故が減少傾向◆

平成 27 年の全道交通事故の死者数は 177 人と、平成 15 年の 391 人に比較し半減しています。しかし、2 日に 1 人が尊い命を失っています。更なる交通事故死減少は山鼻住民の悲願であります。

道路交通網の整備や信号機の改良、交通標識の整備とともに、ハンドルを握るドライバーのモラルも大切な要素です。交通安全啓蒙活動や各種研修会・講習会など地道な活動が交通事故死の減少につながると考えています。

◆山鼻町連等の交通安全行事◆

① 春の交通安全街頭啓発

5 月 11 日（月）石山通 約 90 人参加

② 交通安全・防火防犯・清掃の集い

7 月 4 日（土）中央区ゲートボール場 約 500 人参加

消防ハシゴ車の試乗やゴミ収集車の見学等の後、石山通で街頭啓発活動を実施しました。



《7/4 交通安全防火防犯清掃の集い》

③ 自転車安全利用教室

7 月 31 日（金）山鼻児童会館 73 人参加

8 月 1 日（土）山鼻かしわ児童会館 40 人参加

子どもを対象に、自転車用シミュレーターを使用して安全な運転の仕方を体験しました。



《7/31 自転車安全利用教室》

④ 秋の交通安全街頭啓発

9 月 24 日（木）石山通 約 110 人参加

⑤ 交通安全講話会

11 月 17 日（火）山鼻会館 53 人参加

札幌方面南警察署の林企画係長さんを講師に招き、歩行者用シミュレーターを使用して、安全な横断歩道の渡り方やドライバーの死角など、画面を通して講話をいただきました。



《11/17 交通安全講話会》

保健衛生部

リサイクルについて学びました

～保健衛生部施設見学会～

9 月 2 日、各町内会から 37 人が参加し、発寒リサイクル工場と「ホクレンくるるの杜」の施設見学を行いました。

リサイクル工場に集められた使用済み家電製品、特にテレビはたくさん種類素材からできているので手作業で部品を取り外し、パソコン等 OA 機器の部品はそれぞれ再利用できるものは有効な再資源化が求められるそうです。この工場解体・選別された素材は、専門工場再資源化され、メーカーで再び商品になるそうです。手作業による細かな分解や創意工夫により、高いリサイクル率を目指しているということでした。



体育部

楽しく競い合いました ～面白わくわくスポーツ開催～

9月27日、山鼻会館横の中央区ゲートボール場において、山鼻スポーツ振興会主催の面白わくわくスポーツが開催されました。

この行事には町連が協賛しており、各町内会などから164人が参加しました。でかパンツ競争やパン食い競争などの個人競技と、町内会ブロック対抗の3種リレーや玉入れの団体戦を楽しみ、交流の輪を深めることができました。



よく頑張りました！ ～少年野球チームを表彰～

11月3日、山鼻地区内の少年野球チームへ山鼻町内会連合会会長賞の授与が行われました。本年度の山鼻地区少年野球大会のリーグ戦戦績に基づいて、阿部町連会長から各チームの代表者へ優勝杯と楯が、川岸町連副会長から副賞がそれぞれ手渡されました。



<平成27年度の順位>

- | | |
|-------------|--------------|
| 1位 中南イーグルス | 2位 伏見カーディナルス |
| 3位 幌南ファイターズ | 3位 山鼻アカシアーズ |

女性部

市場や工場を見学しました ～女性部研修旅行～

9月8日、中央卸売市場、道新総合印刷工場、北海道遺産・開拓の村を見学する研修旅行が行われ、約40人が参加しました。

初めに訪れた卸売市場では、朝から観光客で賑う札幌の台所の現状を、日ごろ家庭の台所を預かる女性の目で見ることができました。

道新の印刷工場では、北海道の新聞の歩み、道新の歴史、新聞ができるまでの工程を聞きました。創立時のデスクや電話、当時の紙面には私たちの記憶にあるものもありました。当日の夕刊が販売店ごとに梱包されるところまで見学すると、号外として見学記念の集合写真が一人一人に手渡されました。

新しさや懐かしさを感じながらの研修で、とても有意義な一日となりました。



阿部町連会長が札幌市自治振興功労者表彰を受賞されました

札幌市自治振興功労者の表彰式が11月26日、札幌パークホテルにおいて行われました。今回は、町連会長や山鼻地区社会福祉協議会会長など、多年にわたり地域住民活動に尽力し、地域の自治振興に大きく貢献した阿部町連会長が受賞されました。おめでとうございます。

